

令和4年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立音戸小学校
(音戸中学校区)

全国平均値との差

	国語	算数	理科
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+6.0	+5.0	
令和8年度	—	—	—
令和7年度	—	—	—
令和6年度	—	—	—
令和5年度	—	—	—
令和4年度	+4.4	+3.8	+1.7

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

<p>国語</p> <p>本校 <u>70%</u> 全国 <u>65.6%</u> 県 <u>67%</u></p>	<p>重点課題</p> <p>◎表現の効果を考えることに課題がある。 (設問2三)【読むこと】(平均正答率25.0%)</p> <p>◇根拠を明らかにして、考えを述べることに課題がある。[書くこと]</p> <p>改善の方策</p> <p>◎物語文を読む学習の中で、低学年から登場人物の行動を、前後の場面と比較しながら捉えていく活動を行う。高学年に上がるにつれて、全体と関わらせながら、情景描写を読み取らせることで表現の効果を言葉にする活動を設定する。</p> <p>◇目的を明確にした上で、文章中の表現や必要な情報など根拠を見つけて表現する指導を行う。</p> <p>検証</p> <p>◎全国学力(設問2三)(4~6学年, 2月)目標60%→ 全国学力の類似問題(設問2三)(4~6学年, 2月)目標60%→</p> <p>◇全国学力(設問1四)(4~6学年, 2月)目標60%→</p>
<p>算数</p> <p>本校 <u>67%</u> 全国 <u>63.2%</u> 県 <u>64%</u></p>	<p>重点課題</p> <p>◎数量が変わっても割合は変わらないことを理解することに課題がある。(設問2(3))【変化と関係】(平均正答率15.0%)</p> <p>◇グラフや表を使って問題解決すること、筋道を説明することに課題がある。[データの活用]</p> <p>改善の方策</p> <p>◎第5学年以上において、図や式などを用いて基準量と比較量の関係を表す活動を設定する。</p> <p>◇図表やグラフを用いて問題解決する場を設定し、根拠を示しながら説明する学習活動を行う。</p> <p>検証</p> <p>◎変化と関係に関する市販テストの問題(第5, 6学年, 2月)目標70%→ 全国学力(設問2(3))の類似問題(第5, 6学年, 2月)目標70%→</p> <p>◇令和3年度全国学力(設問3(1)~(5))(第5, 6学年)目標60%→</p>
<p>理科</p> <p>本校 <u>65%</u> 全国 <u>63.3%</u> 県 <u>66%</u></p>	<p>重点課題</p> <p>◎昆虫の体のつくりを理解することに課題がある。(設問1(3))【「生命」を柱とする領域】(全国平均との差-20.6)</p> <p>◇条件と実験結果の関係や妥当性を考えることに課題がある。</p> <p>改善の方策</p> <p>◎生活科の学習時から、虫の体を観察する経験を積む。第3学年以上において、観察したことから気づいたことや分かったことを記述する活動、それらと比較し、根拠を付けてまとめる活動を設定する。</p> <p>◇課題発見解決学習を継続し、課題に対する予想と考察の妥当性を考えさせる場を設定する。</p> <p>検証</p> <p>◎全国学力(設問1(3))(3~6学年, 2月)目標85%→</p> <p>◇全国学力(設問2(4))(第5, 6学年, 2月)目標70%→ 全国学力(設問3(4))の類似問題(4学年, 2月)目標70%→</p>

【来年度に向けて】